



# 被爆の実相とデジタルアーカイブ 新たな継承体験会 を開催しました

開催日程：2019年3月6日（水）

15:00~17:00

開催会場：東京都生協連会館

主催：平和活動担当者連絡会

参加：32名（コープみらい4名、パルシステム東京4名、東都生協2名、東京南部生協1名、全労済東京推進本部1名、大学生協6名、日本生協連2名、東友会7名、日本被団協1名、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会2名、東京都生協連2名）

被爆の実相を継承していく活動として、デジタルアーカイブを活用した継承の体験会を開催しました。この取り組みは単に証言を劣化しないデジタル情報で記録するだけでなく、被爆者との交流を通し参加した方の感想なども登録していく、参加型の新しい取り組みです。

当日は、大学生を含む、様々な年代の参加者が3グループに分かれて交流しました。各グループには2人の被爆者が入り、被爆直後の様子やその後の生活についてお話しいただきながら、質問などを交えて交流しました。最初は硬い表情で話を聞いていた参加者も時間が経つにつれ笑顔で交流するようになり、60分ほどの交流はあっという間でした。

## 被爆者との交流



## デジタルアーカイブに登録



### 参加者の感想より

- ◆被爆の実態だけではなく日常の生活などの話もたくさんあり、原爆一発で生活が一変してしまった事がよりリアルに感じられた。
- ◆証言を体験者の表情を見ながら聞くことができ、一方的ではなく質問もさせていただけたことが良かった。
- ◆原爆が投下された当時のことだけでなく、その後の生活の中での原爆の影響などに関連した周囲の人の様子などが印象的だった。
- ◆視覚で全体がわかりやすいし、感想を登録できることで一体感が持てると思った。

タブレットやスマホで感想を入れます。

